

# 女川縄文フォーラム

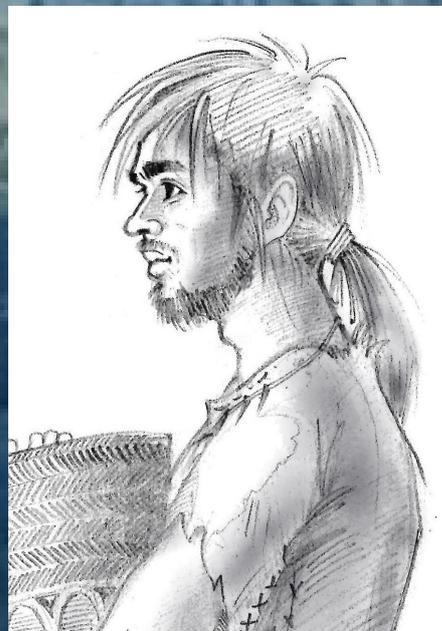
入場無料!!

6月21日(土)

夏至

●13:00～16:00

●女川町まちなか交流館



縄文のジョー (絵: DOGA)

① 講演：世界遺産！秋田「大湯ストーンサークル」の魅力  
赤坂朋美氏（大湯ストーンサークル館学芸員）※オンライン講演

② 講演：年間1万人以上！縄文で町おこし 東松島市の挑戦  
菅原弘樹氏（奥松島縄文村歴史資料館文化財専門官）

③ 女川の縄文人トーク 「縄文」で女川・出島を盛り上げることができるか？

出島遺跡の創作物語



堂賀貞義氏

イラストレーター

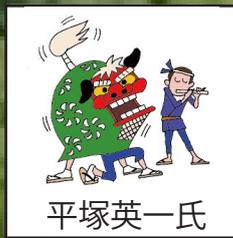
出島の縄文への期待



高野 信氏

女川町未来会議  
出島プロジェクト代表

女川の縄文の魅力



平塚英一氏

女川町獅子振り  
振興協議会事務局長

女川と自然との共生



渡邊雅樹氏

女川本ぶどう園代表

●17:00～19:00

●出島遺跡（配石遺構）（現地集合）

④ 出島配石遺構から夏至の夕日を見る

縄文の人々はこの場所で夕日の沈む位置を観測し、生活のための暦にしていたのかもしれませんが。昼が一番長い夏至の日、自然豊かなこの場所から縄文人と同じ目線で石投山に沈む夕日を眺めます。

※ 会場収容人数は100名様程度になります。QRコードからお申込み下さい。

詳細・申込み



主催：女川縄文フォーラム実行委員会 事務局：本のさかい

協力：一般社団法人 女川未来会議出島プロジェクト 女川町民会議事務局

後援：女川町教育委員会 女川町観光協会

booksakai3@gmail.com

# 縄文がブームに！女川には豊かな縄文の遺跡がある！



## 出島の配石遺構群と貝塚

出島にある縄文遺跡は1960年代・70年代に小田農林高校の先生と生徒が発見して発掘調査しました。その後本格格的な調査はなく、なぜ縄文の人々はここに石を並べたのかなどは明らかになっていません。

近年、この遺跡から太陽を眺めると、夏至は石投山の真上、冬至は第六天山の真上付近に沈むことがわかりました。そこで、縄文の人々はこの遺跡を天文台として利用し、夏至や冬至を祝い、季節の移り変わりを把握していた可能性が指摘されています。

## 講演：縄文を学ぶ



### 日本を代表するストーンサークル 秋田県鹿角市 大湯環状列石

大湯環状列石は、2021年「北海道・東北の縄文遺跡群」の一つとしてユネスコ世界文化遺産に登録されました。

長年の調査によって、縄文の人々がわざわざ石を並べてストーンサークルを作った理由が次第に明らかになってきているようです。当日は大湯ストーンサークル館の赤坂様からオンラインで講演をいただきます。大湯環状列石を学び、出島の配石遺構の謎に迫ります。



### 年間1万人以上！縄文で町おこし！ 宮城県東松島市 奥松島縄文村

東松島市(旧鳴瀬町)は、1990年、縄文で町おこしをすることを決め、以降18年かけて整備、1997年に文化財保護法の「史跡」の指定を受け、2008年に体験型の史跡公園を完成、奥松島縄文村歴史資料館には年間1万人以上の人が訪れているようです。当日は同資料館の菅原様から縄文で町おこしをした東松島市の実践について講演をいただきます。女川も縄文で町おこしができるのでしょうか？



## トーク：女川の縄文の可能性

- ①出島遺跡の整備に取り組んでいる高野信氏(一般社団法人女川未来会議出島プロジェクト)、
- ②女川の縄文遺跡に知見を有する平塚英一氏(女川町獅子振り振興協議会)、
- ③出島の配石遺構群を独自に調査してイラストで表現する堂賀貞義氏(絵描き)、
- ④女川の石投山の麓でのワイン造りを通じて自然との共生を模索している渡邊雅樹氏(女川本ぶどう園)にお越しいただき、どのようにして女川・出島を縄文で盛り上げることができるかについて深めていきます。



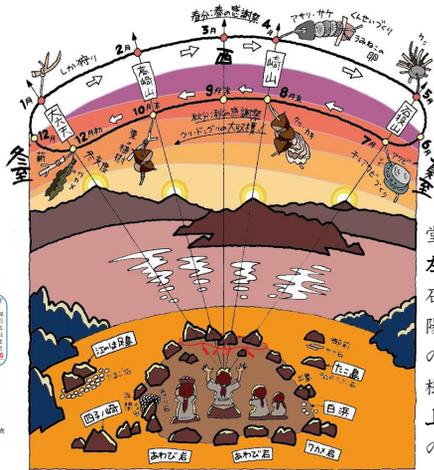
出島遺跡の整備



ブドウの木の植樹



出島遺跡の解説資料



堂賀貞義氏制作のイラスト  
左図：縄文の人々が出島の配石遺構群から夕日を眺め、太陽の沈む位置によって、季節の移り変わりを把握していた様子。

上図：出島に住んでいた縄文の人々の様子。

## 遺跡から夏至の夕日を眺める



海と森に囲まれた遺跡から夕日を眺めます(曇りで見えないこともあります)。



出島の遺跡周辺には座って夕日を眺めることができる野原があります。



○現地集合となります(雨天中止)。19時頃に太陽が沈む予定です。各自自由にお過ごしください(途中参加・退室自由)。

○出島遺跡に駐車場はありません。出島港の臨時駐車場に車を停めてください。この駐車場付近でキッチンカーが出店予定です。

## 女川での学びを豊かに by本のさかい

本のさかいは「女川での学びを豊かに」をテーマに、2025年2月から縄文の勉強会「縄文トーク@女川」を始めました。

本フォーラムは勉強会に参加した有志の「女川を縄文で盛り上げたい」という思いから生まれました。

本のさかいは本フォーラムの事務局となっておりますのでお気軽にお問い合わせください(E-mail: booksakai3@gmail.com)。



縄文トーク@女川の様子



おすすめ書籍  
サラリーマンが週末だけ縄文の生活をしてみたら!?  
Youtubeで人気の取り組みの書籍です。



女川の縄文に関心がある人々が集うLINEのオープンチャットです。匿名で参加することができますのでお気軽にご参加ください。



ネットで書籍を入手する場合、アマゾンに抵抗し、街の書店を応援するオンライン書店e-hon(My書店:本のさかい)をご検討いただけたら幸いです。